

科目名	クリエイションテクニック&デザインⅠ-A	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	宮田 共子
【科目の到達目標】 想像力と表現力を伸ばし、クリエイションを具現化する過程の中で作品制作のための縫製技術を修得する。			
【科目の概要】 A(意匠) 特に感覚的な表現に特化した制作行う。自由な考え方を制作に活かし、発想力を高める。 クリエイションを具現化する過程の中で作品制作のための縫製技術を学び、修得する。			
【授業計画】 90分/コマ	前期	後期	
1,2	革新的なスカート	31,32	コート企画
3,4	革新的なスカート	33,34	コート企画
5,6	革新的なスカート	35,36	コート企画
7,8	革新的なスカート	37,38	コート企画
9,10	革新的なスカート	39,40	コート企画
11,12	革新的なスカート	41,42	コート企画
13,14	革新的なスカート	43,44	コート企画
15,16	革新的なスカート	45,46	コート企画
17,18	革新的なスカート	47,48	コート企画
19,20	革新的なスカート	49,50	コート企画
21,22	革新的なスカート	51,52	コート企画
23,24	革新的なスカート	53,54	コート企画
25,26	革新的なスカート	55,56	コート企画
27,28	シャツ企画	57,58	コート企画
29,30	シャツ企画	59,60	コート企画
【成績評価方法】 課題作品 の評価 60 %、 期末試験 30 % 、 授業態度 10 %			
【教科書・参考書】 上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 『テーラリングテクニック』・『スカート』・『ブラウス』・『ワンピース』・『ジャケット』・『コート』上田安子服飾専門学校 最新版 教員作成のオリジナルプリント			
【教材・教具】 ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式			

科目名	クリエイションテクニック&デザイン I-B	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	宮田 共子
【科目の到達目標】 想像力と表現力を伸ばし、クリエイションを具現化する過程の中で作品制作のための縫製技術を修得する。			
【科目の概要】 B(構造) 特に物理的な表現に特化した制作行う。 クリエイションを具現化する過程の中で作品制作のための縫製技術を学び、修得する。			
【授業計画】 90分/コマ	前期	後期	
1,2	革新的なスカート	31,32	ジャケット企画
3,4	革新的なスカート	33,34	ジャケット企画
5,6	シャツ企画	35,36	ジャケット企画
7,8	シャツ企画	37,38	ジャケット企画
9,10	シャツ企画	39,40	ジャケット企画
11,12	シャツ企画	41,42	ジャケット企画
13,14	シャツ企画	43,44	ジャケット企画
15,16	シャツ企画	45,46	ジャケット企画
17,18	シャツ企画	47,48	ジャケット企画
19,20	シャツ企画	49,50	ジャケット企画
21,22	シャツ企画	51,52	ジャケット企画
23,24	シャツ企画	53,54	ジャケット企画
25,26	シャツ企画	55,56	ジャケット企画
27,28	シャツ企画	57,58	ジャケット企画
29,30	シャツ企画	59,60	ジャケット企画
【成績評価方法】 課題作品の評価 60 %、 期末試験 30 % 、 授業態度 10 %			
【教科書・参考書】 上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 『テーラリングテクニック』・『スカート』・『ブラウス』・『ワンピース』・『ジャケット』・『コート』上田安子服飾専門学校 最新版 教員作成のオリジナルプリント			
【教材・教具】 ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式			

科目名	クリエイションテクニック&デザイン I-C	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	宮田 共子
【科目の到達目標】 想像力と表現力を伸ばし、クリエイションを具現化する過程の中で作品制作のための縫製技術を修得する。			
【科目の概要】 C(技術) 特に縫製技術を学び、縫製仕様の理解を深める。			
【授業計画】 90分/コマ	前期	後期	
1	タイトスカート1	16	箱ポケット1 袋布袋縫いP49
2	タイトスカート2	17	箱ポケット2 袋布袋縫いP49
3	タイトスカート3	18	基礎縫い3 伏縫い、スカラップ
4	タイトスカート4	19	特殊素材ラップスカート1
5	タイトスカート5	20	特殊素材ラップスカート2
6	タイトスカート6	21	特殊素材ラップスカート3
7	タイトスカート7	22	特殊素材ラップスカート4
8	ピーターパンカラー1	23	特殊素材ラップスカート5
9	ピーターパンカラー2	24	特殊素材ラップスカート6
10	ピーターパンカラー3	25	特殊素材ラップスカート7
11	ピーターパンカラー4	26	特殊素材ラップスカート8
12	ピーターパンカラー5	27	特殊素材ラップスカート9
13	ピーターパンカラー6	28	特殊素材ラップスカート10
14	ピーターパンカラー7	29	薄物始末1
15	ピーターパンカラー8	30	薄物始末2
【成績評価方法】 課題作品 の評価 60 %、 期末試験 30 % 、 授業態度 10 %			
【教科書・参考書】 上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 『テーラリングテクニック』・『スカート』・『ブラウス』・『ワンピース』・『ジャケット』・『コート』上田安子服飾専門学校 最新版 教員作成のオリジナルプリント			
【教材・教具】 ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式			

科目名	パターンメイキングⅠ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

一般的な製図と製図用語、立体式製図の基本的な理論を理解出来る。オリジナルデザインの立体式製図が作図出来、パターンメイキング出来る。

【授業概要】服作りのプロセスで重要なパターン作りの平面作図を、上田学園ではオリジナルの立体式製図として長年研究してきた。立体製図の基本を理解することにより、オートクチュールの様な1点作品、オーダーメイド作品の制作を的確に作図する事が可能になる。又プレタポルテ、量販商品制作のパターンメイキングの「より良い製品作り」の土台となる技術である。

教員のコンピュータ画像による製図の説明や、実際にパターンメイキングを実演し、それをノート、ケント紙、模造紙に作図、整理する

トワールによる実寸組み立てをする

授業及び復習製図はノート等にファイルして提出し、教員のチェックを受ける

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1・2	概論 タイツスカート原型	31・32	ジャケット原型
3・4	セミタイトスカート 応用 ①	33	袖原型→2枚袖
5・6	セミタイトからの応用展開 ②		
7・8	身頃原型 前身頃について(体型度の移動)	34・35	テーラードカラージャケット
9・10	前身頃について 体型度の移動	36・37	
11	後ろ身頃について(肩甲骨の処理)	38・39	
12・13	袖の基本型 長袖2種		
14	セミタイトスリーブ横・縦	40・41	ショールカラージャケット
15	袖のバリエーション	42・43	
16	パフスリーブ3種	44・45	
17	トワールによる実寸組み立てをする		
18・19	襟のバリエーション	46・47	フード付きブルゾン
20	トワールによる実寸組み立てをする	48・49	
21・22	ファーストパターン作り		
23	ヨークブラウスのパターンメイキング	50・51・52	ラグラン原型
24	ステンカラー		
25	トワールによる実寸組み立て	53・54	きもの袖等の身頃続きの袖 各種
26・27・28	襟ぐりのバリエーション		
29・30	前期試験	55・56 57・58 59・60	メンズ パンツ 後期試験

【成績評価方法】

課題の評価 60 %、期末試験 30 %、授業態度 10 %

【教科書・参考書】

上田安子「立体式洋裁」服飾手帖社、製図Ⅰ 服飾手帖社、配布プリント

【教材・教具】

筆記用具、製図用具一式(原型、実寸割り出し尺、1/2・1/3縮尺、三角定規、コンパス、分度器、トレーシングペーパー、メジャー
製図ノート、ケント紙、模造紙

科目名	クリエイション・ドローイングⅠ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	高木義隆/長滝 浩美

【科目の到達目標】

デザイン画などのビジュアルツールで他者とのコミュニケーションをはかれるようになる。

服飾を実製作した際に違和感のないプロポーションで簡潔且つスタイリッシュに伝え得る線描と着色、仕上げ方の基礎を取得する。

【科目の概要】

ファッションクリエイターが他者とイメージをやり取りする為のデザイン画(視覚化)を製作するための、

絵画的な基礎(理論・技術)の習得・応用を目的とする。

服飾を実製作した際に違和感のないプロポーションで簡潔且つスタイリッシュに伝え得る線描と着色、仕上げ方を学ぶ。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	オリエンテーション(デザイン画の目的)	16	プロポーションチェック
2	右脳で描く(記号的認識の排除)	17	ポージングⅠ
3	線の種類(多様な線)	18	ポージングⅡ
4	比率・プロポーションアナライズ	19	メンズプロポーション
5	遠近法 立体感・量感 影の着色	20	ディティール表現(衿・袖・ポケット)
6	ヌードボディーへの着装	21	ディティール表現(ドレーパリーⅠ)
7	デザイン画の着色・仕上げ	22	ライン表現とシェイディング
8	シルエットのアレンジ	23	ドレーパリーⅡ (コピック着色Ⅰ用下絵)
9	服のディティール(ドレープ・プリーツ・ギャザー)	24	コピック着色Ⅰ(仕上げ)
10	ディティールの入ったデザイン画	25	着用しわの表現(コピック着色Ⅱ用下絵)
11	柄の入ったデザイン画①	26	コピック着色Ⅰ(仕上げ)
12	柄の入ったデザイン画②	27	オリジナル作品
13	デザイン画選手権 制作①	28	オリジナル作品
14	デザイン画選手権 制作②	29	学期末テスト
15	学期末テスト (テスト週に行う場合は、前週と同内容とする)	30	まとめ

【成績評価方法】

授業内での提出物(半期5～7点)の評価と、学期末テストの合計

【教科書・参考書】

『F・クリエイション・ドローイング』 立嶋滋樹 服飾手帳社

【教材・教具】

スケッチブック・クロッキーノート・ケント紙・鉛筆類など描画材・デザインガッシュなどの絵の具類
ファッション雑誌など

科目名	クリエイションデザイン論Ⅰ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	90	作成者	佐藤良祐

【科目の到達目標】

ファッションデザインを考えるときに、過去の衣服の変遷や民族による衣服の違いを知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことをとおしてオリジナルデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。

【科目の概要】

ファッションデザインの変遷と、民族・習慣等による衣服のデザインについて理解を深めるための講義と演習
現在、流通している衣服や歴史上の衣服のファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1,2	ファッションデザインのもと1 エレガントとスポーティ		31 ジーンズのデザイン①「ジーンズの歴史」
3,4	デザイン演習		32 ジーンズのデザイン②「ジーンズの種類」
5,6	ファッションデザインのもと2 モダンとフォークロア		33 ジャケットのデザイン①「ジャケットの歴史」
7,8	デザイン演習		34 ジャケットのデザイン②「ジャケットの種類」
9,10	スカートのデザイン1「スカートの変遷」		35 ジャケットのデザイン③「ジャンパーの種類」
11,12	デザイン演習		36 ミリタリーデザイン①
13,14	スカートのデザイン2「ドレスの変遷」		37 ミリタリーデザイン②
15,16	シャツ・ブラウスのデザイン1		38 ミリタリーデザイン③
17,18	シャツ・ブラウスのデザイン2		39 デザイン演習
19,20	デザイン演習		40 コートのデザイン「コートの種類」
21,22	パンツのデザイン 1		41 フットウェアのデザイン①
23,24	パンツのデザイン 2		42 フットウェアのデザイン②
25,26	デザイン演習		43 バッグのデザイン
27,28	上田学園コレクション デザイン画		44 LVMH企画①(概要説明)
29,30	上田学園コレクション デザイン画		45 LVMH企画②(時流分析)

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』
WWDジャパン『WWD』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックスケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	色彩構成	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	後期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	山本廣道
【科目の到達目標】 色彩の基本理解と課題制作を通して創作の視点と発想力を高める。 色彩の知識と感覚(感性)を服飾に反映させる。			
【科目の概要】 ファッション分野に限らず色彩は重要であり、色を主観ではなく客観的に分析できるための授業を行う。 テキスト「デザインの色彩」の基礎学習と絵具(デザインガッシュ)で課題制作を行なう。 授業前半に配色技術を習得して、後半のイメージ配色では各自の独創性を表現する。			
【授業計画】 90分/コマ 前期			
1	色の三原色から色相作り～カラーカードの作成		
2	基本配色Ⅰ『対比の配色』		
3	基本配色Ⅱ『明度・彩度対比の配色』		
4	コスチューム・ポーズのデザイン		
5	明度・彩度段階の配色		
6	基本配色Ⅲ『ファッションイメージとトーン』		
7	ファッションモードの資料作成		
8	トーンの理解と配色		
9	イメージ配色Ⅰ『テキスタイル・イメージ』		
10	テキスタイルパターンのデザイン		
11	イメージカラーの配色		
12	イメージ配色Ⅱ『ポートレート』		
13	コラージュの画面構成		
14	カラー・イメージスケールの配色(一週目)		
15	カラー・イメージスケールの配色(二週目)		
	修業テスト		
【成績評価方法】 課題作品 5点の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】 デザインセット(デザインガッシュ絵具／パレット／筆／筆洗) スケッチブック. 配色カード. 定規. 雲形定規. コンパス等			

科目名	コンピューター演習 I	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	於保 可那子

【科目の到達目標】

Illustrator&Photoshopのデザインソフトの基礎技術を習得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。イメージを可視化する力をつけ、より効率的・スピーディーに豊富なデザイン展開を提案できるようになる。

【科目の概要】

時代に合った作品のアピールの方法として、Illustrator&Photoshopは必要不可欠となった。まずは基礎的な操作方法を固め効率を考えた一連の知識や技術習得する。後半は、デザインやイメージが的確に伝わり、作り手の思いや温度を伝えるためにはどうすればいいか、出力だけで終わらないポートフォリオ作りを考察する。

【授業計画】

90分/コマ

1	メールアカウントの設定・Illustrator&Photoshop基礎知識
2	ポートフォリオ作成演習①（プレタ展作品・形式統一）
3	ポートフォリオ作成演習②
4	ポートフォリオ作成演習③
5	MAPの完成・形式で保存
6	名刺デザイン・QRコード
7	ポートフォリオ作成演習 ポートフォリオの考え方・形式の考察
8	画像素材の収集と編集・スキャナーの使い方・画像解像度の理解
9	素材と形（出力紙・ポートフォリオ自体の形式など）・レイアウト考察
10	デザイン展開・ハンガーイラスト(Illustrator ペンツールテクニック)
11	〃
12	オリジナリティの考察
13	〃
14	〃 個人個人に合わせた+αの指導
15	完成・総評

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

【教材・教具】

データ配布 フラッシュメモリ 筆記用具 のり はさみ

科目名	ファッションビジネス論Ⅰ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	秦野知邦

【科目の到達目標】

- ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。
- ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。
- ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。

【科目の概要】

ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考えるグループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。
最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 ファッションビジネスの魅力・市場の特徴について
- 2 世界のコレクションとプロモーションについて・LVMHとケリングについて
- 3 SPAとOEMと商社について・セレクト系SPAとグローバルSPAについて
- 4 ショップにおけるマーチャンダイジング
- 5 アパレル市場とマーケティング
- 6 MDの仕事内容と重要性について
- 7 現状のマーケット市場のリサーチ
- 8 リサーチ資料を作成
- 9 リサーチ内容をグループミーティングとプレゼンテーション
- 10 ファッションビジネストレンドについて
- 11 アパレル企業の流通構造と販路と立地(百貨店・ファッションビル・路面店)
- 12 アパレルメーカーの仕事と職種・取引と取引条件
- 13 アパレル小売業の仕事と職種・販売員の重要性について
- 14 ファッションビジネスの展望と課題
- 15 期末テスト

【成績評価方法】

- ・ 授業における評価 40% ・ プレゼンテーション 30% ・ 期末試験 30%

【教科書・参考書】

日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント

【教材・教具】

ノート ・ 筆記用具

科目名	映像実習 I	整理番号				
学科	トップクリエイター学科	期	前期			
コース	トップクリエイターコース		昼間			
学年	1年	授業形態	講義	20 %	実習	80 %
時間数	30	作成者	平原 栄治			
【科目の到達目標】						
プレゼンテーション、イベント等で必要となる映像表現を学習する。						
Illustrator,Photoshop,Powerpoint等を使用しながらさまざまなプレゼンテーション資料を作る技術を習得する。						
コンピュータによる画像データの扱い、データ変換、ネットワークの知識などを学習する。						
【科目の概要】						
現代のファッションビジネスに対応するため、基本的なソフトウェアの使い方を修得する。						
講義を行い教員と同時進行でコンピューターを使用してそれぞれの課題を取り組み、						
目的に合わせてソフトウェア選択し、使いこなせる。						
【授業計画】		前期				
90分/コマ						
1		授業ガイダンス・コンピュータの扱い Google Chrome Adobe Photoshop				
2		画像・映像データ概論 Google Chrome Adobe Photoshop				
3		写真加工テクニック演習 Adobe Photoshop Adobe Illustrator				
4		写真加工テクニック演習 Adobe Photoshop Adobe Illustrator				
5		プレゼンテーションデータ制作実習 Powerpoint				
6		プレゼンテーションデータ制作実習 Powerpoint				
7		スライドショーによるムービー制作実習 Powerpoint				
8		スライドショーによるムービー制作実習 Powerpoint				
9		Webプロモーション実習 Adobe Photoshop Google Chrome				
10		Webプロモーション実習 Adobe Photoshop Google Chrome				
11		Webプロモーション実習 Adobe Photoshop Google Chrome				
12		作品PV制作 Adobe Photoshop Adobe Premier				
13		作品PV制作 Adobe Photoshop Adobe Premier				
14		作品PV制作 Adobe Photoshop Adobe Premier				
15		テスト・授業まとめ				
【成績評価方法】						
提出物評価60% テスト30% 授業態度10%						
【教科書・参考書】						
教員作成 オリジナルプリント						
【教材・教具】						
パソコン・USBメモリー・デジタルカメラ等						

科目名	アートラボ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	後期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	西嶋みゆき

【科目の到達目標】

クリエイティブ素材としての紙の可能性について理解を深め、紙による加工について基礎技術を習得する。
 多様な和紙・洋紙・加工紙などに興味を持ち、素材をいかした創作を行える力を養う。
 アート・デザインを通じて自身の創作のためのアンテナを広げ、発想力を高める。

【科目の概要】

多様な素材について理解を持つことはファッションのみならずクリエイションには必須である、縫製素材としての布と近似性のある紙という素材について理解を深め創作していくための講義と演習を行う。
 各種紙素材を用いた加工方法を演習により学び、自身の発想を元に応用した作品を制作する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション(アートラボについての概要説明)
- 2-6 『平面から立体へ』(吊る、切る、山折り谷折り、組む、ことによる平面の立体化)
- 7-10 『素材の変身』(エンボスや蠟引きなどによる素材への加工)
- 11-14 『伝えるかたち』紙加工・紙素材をいかしたサンプルブックの制作
- 15-18 『飾るかたち』紙加工をいかしたオブジェ制作
- 19-23 『身にまとうかたち』紙加工をいかした身体装飾品制作
- 24-29 オリジナル作品の制作
- 30 プレゼンテーション、まとめ

【成績評価方法】

提出物評価60% 最終発表作品30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

参考書『紙 基礎造形・芸術・デザイン』朝倉直己 著 美術出版社 2001年8月発行

参考書『Paper Made -Art,Craft,and Design 紙から生まれる新しいかたち』Adeline Loh編 株式会社BNN発行 2010年8月発行

【教材・教具】

カッターナイフ、ハサミ、カッティングマット、ケント紙、画用紙、和紙、定規、ボールペン、コンパス、糸、接着剤、アイロン、ろう、各種メディウム、筆記用具、絵の具など描画材、めうち、針金など

科目名	染色	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	後期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	28	作成者	長田 綾美

【科目の到達目標】

染色技法基礎の修得。デザインの感性を高め作業を計画的に進めて行く能力を養う。

染料と繊維の関係を学ぶ。

色彩感覚を養い染色のおもしろさを知る。

【科目の概要】

アナログ的な手作りを基本とした制作実習。シルクスクリーン、絞り染め、ステンシルなどの技法を使ってTシャツ、トートバッグ、ハンカチ、生地素材などを染めながら染色技法を習得していきます。

【授業計画】90分/コマ

- 1・2 絞り染め。浸染め。 参考プリントから色々な技法を修得。
- 3・4 絞り染め。浸染め。 参考プリントから色々な技法を修得。
- 5・6 板締め。板の挟み方によって異なるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 7・8 板締め。板の挟み方によって異なるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 9・10 シルクスクリーン。 幾何学模様によるデザイン原稿を制作する。
- 11・12 シルクスクリーン。 幾何学模様によるデザイン原稿を制作する。
- 13・14 シルクスクリーン。 トートバックやTシャツにオリジナルデザインをプリントする。

【成績評価方法】

提出課題の評価 60 %

期末試験 30 %

授業態度 10 %

【教科書・参考書】

【教材・教具】

各種染料。 刷毛、筆、伸子、張り木、ステンレスタンク、蒸し器等の染色用具。
ガスコンロ、水洗場等の設備。 シルクスクリーン感光器

科目名	服飾史	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	昼間
コース	トップクリエイターコース		後期
学年	1年	授業形態	講義 90 % 実習 10 %
時間数	30	作成者	佐山 孝典

【科目の到達目標】

現在のファッションを理解するにあたり、過去の衣服のルック、スタイル、素材、構造、ディテールを知る。
また、その衣服が発生した社会背景を含め、ファッションのもつイメージの意味を考察できる知識を習得する。

【科目の概要】

ファッションの始まりを中世からと設定し、その変遷を図画、写真など、ビジュアル資料を見せながら解説する。
また、各時代の建築、プロダクト、美術、工芸、音楽、映画、文学などと絡めながら解説し、
文化としての衣服を体系的にとらえながら、デザインに生かせる知識を得る。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 科目の概要 授業内容の説明
- 2 中世、近世、近代の服飾
- 3 19世紀末の服飾
- 4 1910年代の服飾
- 5 1920年代の服飾
- 6 1930年代の服飾
- 7 1940年代の服飾
- 8 1950年代の服飾
- 9 1960年代の服飾
- 10 1970年代の服飾
- 11 1980年代の服飾
- 12 1990年代の服飾
- 13 2000年代の服飾
- 14 2010－2020年代の服飾
- 15 試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『ジャパン ファッション クロニクル インサイトガイド 1945～2021』講談社エディトリアル2022

『ファッション イン ジャパン 1945-2020—流行と社会』青幻舎 (2021/4/10)

【教材・教具】

教具：Googleスライドで作成したデータを大型モニターTVに出力
プリントレジュメ、資料はクラスルームでオンラインで配布

科目名	服飾素材論 I	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。
 アパレル素材についての基礎知識を習得し、その代表的な布地の特性を理解する。

【科目の概要】

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語ることは本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に習得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ニーズに応じた素材選びを学んでいく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
素材とは？（繊維・糸・布地）
- 2 生地の種類（織物・編物）について
- 3 ・繊維の種類について
天然繊維・化学繊維
- 4 繊維の特性
- 5 ・天然繊維（1）・植物繊維―綿
代表的な綿織物
- 6 ・天然繊維（2）・植物繊維―麻
代表的な麻織物
- 7 ・天然繊維（3）・動物繊維―毛
- 8 代表的な毛織物
- 9 ・天然繊維（4）・動物繊維―絹
- 10 代表的な絹織物
- 11 ・化学繊維（再生繊維）
- 12 ・化学繊維（半合成繊維）
- 13 ・化学繊維（合成繊維）
- 14 総復習（テスト傾向と対策）
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物の評価 40 %
 テスト 50%（期末試験40%, 小テスト 10%）
 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』、ファッション教育社, 2012年
 ・田中道一、『生地の事典』、株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

・筆記用具